

物価高に
負けない
大幅賃上げを

なくそう
賃金格差
トリプル改定で
大幅引き上げ!



来春の「トリプル改定」を見すえ、出足早く取り組む 23 秋闘に
いのち・暮らし支えるケア労働者の大幅増員・大幅賃上げ
暮しと労働の実態に見合った一時金を獲得しよう!!

2023 秋闘

■ 来春の報酬改定大幅引き上げ、暮らし守る一時金獲得をめざそう！

組合員のみなさん、2023 年秋闘がはじまります。10 月 27 日(金)が統一要求提出日。ストライキ権を確立し、要求説明交渉を配置して、11 月 8 日(水) 統一回答指定日の回答引き出し、翌 9 日(木)の産別統一行動に、力を合わせて立ち上がりましょう。

来春は、診療報酬、介護報酬、障害報酬の同時改定（「トリプル改定」）の年です。

医療、介護、障害福祉は、それぞれの報酬制度により「公定価格」で運営されています。病院や介護施設などが、今の物価やエネルギー価格の高騰に対応し、職員の暮らしを守る賃金・一時金の改善を図るには、物価上昇を上回る、この「公定価格」の引き上げが必要です。「トリプル改定」を視野に、出足早く、秋闘の取り組み準備を進めましょう。

全国の仲間と力を合わせて、国に対し、ケア労働者の大幅増員、大幅賃上げを保障する報酬の大幅引き上げを求め、また、使用者に対し、暮しと労働の実態に見合った一時金の実現を求めて交渉を進めましょう！



* 物価高騰で暮らし悪化、補助金カットで電気・ガス値上げ

7月の消費者物価は前年同月比 3.3%増、2020 年を 100 とすると 105.7 に上昇しています。中でも、前年比で乳卵類は 17.3%、家事用消耗品も 13.8%もの値上げで、調理品、菓子類、生鮮魚介、油脂・調味料なども 10%以上の値上げです。ガソリンは、政府の補助金カットで最高値を更新、10 月から電気・ガス代も軒並み値上げ、9 月に値上げ予定の食品は、2,067 品目に上ります。金融緩和を続ける政府・日銀の政策が円安による輸入物価やエネルギー価格の高騰につながり、暮らしを直撃しています。この悪政、転換は待ったなしです。

秋闘要求実現・来春の大幅賃上げめざす 2023 年秋闘トリプル・アクション

- 10・19 **国民総行動**
- 11・ 9 **全国統一行動** ▶ 11・15-16 **中央行動・対政府交渉**
- 11・25 **秋のナースウェーブ**

■ ケア労働者大幅賃上げ・大幅増員の財源確保へ、報酬大幅引き上げを世論にアピール！

年末の予算編成で決まる診療報酬や介護報酬の改定率が、来春闘の賃上げ財源の確保にとって大きなカギとなります。

一方、コロナの 5 類移行で治療費の公費負担や、病床確保のための補助金が縮小され、病院の収入減が心配されます。しかし、だからと言って、年末一時金の切り下げなどは断じて認められるような状況ではありません。

物価も光熱費も上がり、暮らしはますます大変です。世間は、民間は春の賃上げも夏季賞与も上がり、公務もそれを反映して人事院勧告は給料・ボーナスとも引上げ。最低賃金も過去最大の引き上げ幅となりました。

他方、医療・介護現場は、人手不足の中、いまだコロナと向き合い、患者・利用者のいのち・暮らしを守るために力をつくしています。なのに十分な賃上げもなく、ボーナスカットなどあり得ない。大幅な一時金引き上げ、そして来春こそ大幅賃上げが必要だ、という事を、経営者と国や自治体、そして世論に強く訴えていく事が重要です。

23 秋のトリプル・アクション、そして国会と政府に向けた中央行動に力をつくしましょう！



憲法上、禁止された兵器を保有へ

- ◆ 鳥嶋防衛用高速滑空弾 (事実上の弾道ミサイル) = 大陸間弾道ミサイル
- ◆ スタンド・オフ機能がある長射程ミサイルの導入
JSM, JASSM, LRASM (長射程巡航ミサイル) = 長距離戦略爆撃機
- ◆ 憲法に基づく専守防衛から逸脱する空母保有
護衛艦「いずも」を空母化、垂直離着陸ができる F35B を搭載 = 攻撃型空母



*ところで、今の政権、むちゃくちゃだと思いませんか？

岸田政権は、問題だらけで国民多数が反対する健康保険証廃止・マイナカード押付けに固執し、原発再稼働に踏み切り、危険な老朽原発を 70 年も動かすことを可能にし、福島のトリチウム汚染水を漁業者の反対を無視して海に放出しました。

憲法 9 条の下、まがりなりにも「専守防衛」としてきた自衛隊が他国をミサイル攻撃できるようにし、その軍備拡張のための財源確保に福島の復興税を流用し、JCHO や国立病院機構の積立金を召し上げ、日本が戦場になるのに備えた自衛隊基地の強靱化や、南西諸島の軍事要塞化を進めています。

安倍元首相銃撃事件で明るみに出た自民党と統一協会の底知れない癒着に全く無反省で、その問題で閣僚をやめた議員、疑惑の渦中の議員を重用し続け、さらには、官房副長官は殺人事件隠蔽疑惑や違法風俗疑惑、自民党の女性議員は税金でパリ旅行、総理の息子は首相公邸で忘年会騒ぎです。

民主主義も立憲主義も政治倫理も公序良俗すらあったものではない状況で、岸田内閣の支持率は風前の 30% 台。こんな内閣は、即刻、退陣してもらうべきではないでしょうか。



看護師・介護職員的大幅増員をめざそう！

■30年ぶりに看護師確保法基本指針を改定

厚労省は、今秋、30年ぶりに看護師確保法基本指針を改定します。「処遇改善」には①夜勤等の業務負担の軽減及び業務の効率化、②給与水準等、③看護業務の効率化・生産性向上、④勤務環境の改善、⑤職場における雇用管理体制の整備及びハラスメント対策、⑥チーム医療の推進、タスク・シフト/シェア、などの項目を掲げ、その他に「資質向上」「就業促進」「新興感染症・災害対応看護師確保」を盛り込んでいます。

しかし、中には様々な問題が含まれています。特に、給与水準について「キャリアアップに伴う処遇改善」と「特定行為研修」を押し出し、「タスク・シフト/シェアは医師の労働時間短縮効果も期待される」とするなど、岸田政権が進める「リ・スキリング、ジョブ型賃金」の導入や、「医師の働き方改革」と医師増員の抑制に看護師を利用する姿勢があらさます。

厚労省は 2040 年に 210.1 万人の看護師が必要（2018 年比 +32.3 万人）としていますが、この推計は、今と何一つ変わらない働き方や業務量が前提です。夜勤の削減や労働時間の短縮などを織り込んだ大幅増員こそ求められます。

新しい「大幅増員署名」の取り組みを大きく進めて、医師・看護師・介護職員的大幅増員とケア労働者の大幅賃上げをめざしましょう！



戦争の準備ではなく、
平和の準備を！
軍事費増額ではなく、
社会保障の拡充を！



「新しい戦前」「新しい資本主義」「全世代型社会保障」って？

岸田政権は昨年末、「安保 3 文書」を閣議決定、軍事費を 2 倍化し、国際法違反の先制攻撃を仕掛ける敵基地攻撃能力を装備して「新しい戦前」へ向かい、軍事産業を育成し殺傷兵器の輸出で稼ぐ「死の商人国家」へ踏み出そうとしています。

また、従前と何ら変わらない新自由主義政策に「新しい資本主義」と名を冠し、「DX」「GX」に労働者も中小企業も巻き込み、大企業が新たな儲けを上げる経済政策を推進。少子化が加速する中、労働力確保のため、税や社会保障は「働き方に中立に」とのたまたま制度を改変、女性も高齢者も働かざるを得ない方向に仕向け、全世代に負担を課す「全世代型社会保障」構築を進めています。「異次元の少子化対策」は看板倒れで、少子化を加速してきた不安定雇用や貧困・格差の拡大、ジェンダー不平等に全く無反省です。こうした政治を変えることこそ、国民が望む新しい日本へ進む道です。

※DX：デジタルトランスフォーメーション GX：グリーントランスフォーメーション

2023 秋闘「6 つ」の職場でやること！

- ①執行委員会でこの秋闘討議資料を読み合わせしよう
- ②10月27日までに秋闘要求(回答指定日は11月8日)を提出しよう
- ③年末一時金要求など「譲れない要求」をかかげ、ストライキ配置を検討しよう
- ④「医団連署名」「大幅増員署名」「軍拡より社会保障署名」に取り組もう
- ⑤「23 秋闘トリプル・アクション」に積極的に参加しよう
- ⑥組合員を増やそう



みんなで団体交渉に参加しよう！
Twitter デモに challenge しよう！